

“馬派”司書の部屋

2026年は午年ですね。干支の「午」を動物にあてはめたものが、「馬」となります。

犬や猫とは違って一般的に身近ではありませんが、馬はわたしたちの生活に意外と関連が深い動物でもあります。

東北地方では、地駄引きといって、馬を使って木を運ぶ方法があり、機械が入れないような足場の悪い山の中でも、馬と人が一緒に分け入って仕事をしていました。

遠野地方には、人と馬が一つ屋根の下で共に暮らすために作られた、「曲がり屋」と呼ばれるL字型の伝統的な民家が今も残っています。

日本で飼われていた馬は、生活の様々な面を支える大切な存在でした。現在では、在来馬として8種類しか残っていませんが、国の天然記念物である御崎馬や、県の天然記念物である木曾馬と宮古馬など、それぞれの地域で、大切に保護・保存の取り組みがなされています。

午年である2026年、馬と人が共に働き、共に生きていたことに、思いをはせてみるのはいかがでしょうか。

(O)

馬を知るための本

『馬と生きる』

澄川嘉彦／文 五十嵐大介／絵 福音館書店

『人と共に生きる日本の馬』

高草操／著 メトロポリタンプレス

『日本の馬の仕事図鑑』

青木修／監修 高草操／編著 小久保友香／編著

鈴木大作／編著 緑書

巣鴨・大塚界限

その5 中高生の居場所 ジャンプ東池袋

今回、少し足を伸ばして取材させていただいた「ジャンプ東池袋」は一言で表現するなら「中高生がフラッと立ち寄れる居場所」です。

エントランスで、明るい挨拶で迎えていただいた奥には、楽しそうにテレビゲームに興じる中学生の子たち。その横には、図書館とは一味違ったラインナップの漫画がずらりと並んでいました。

奥の音楽スタジオには、ギター・ドラム等々、本格的な楽器が並んでいて、未来のミュージシャン？が練習を終えて帰っていくところでした。

身体を動かすことが好きな子は、ホールで卓球。屋上でバスケットボール。そして、なんと立派なビリヤード台。ダーツまであります。身体も頭も使って楽しめる空間が、そこにはありました。

さらには、キッチンスペースもあり、お友達とお料理をしたり、食べたりもできるとのことでした。家庭科の授業とは違う楽しみ方ができるに違いありません。

ここには、中高生がしたいことの多くが用意されています。また、月1回弁護士さんがいらして相談にのってくれる機会もあるとのこと。悩み多き年頃の中高生が、人に相談をするのはハードルが高いところもあるかと思いますが、ここなら少しだけ敷居が低く、最初の一步が踏み出せるかもしれません。

日頃図書館のYAコーナーで見ている中高生のお顔とは違う姿を拝見できたこと、貴重な取材になりました。

(M)

【住所】〒170-0013 豊島区東池袋 2-38-10 2階
【電話番号】03-3971-4931



《編集後記》

新しい年がやってきました。図書館では1月11日にお子さん向けの「新春開運つり大会」を予定しています。毎年好評なイベントですので、お時間ありましたら是非ご参加ください。
(Ma)

すがもらいぶらり

2026年1月1日発行(年6回1・3・5・7・9・11月の1日)

2026年を迎えました。今年も利用者みなさまにとって良い1年となりますように。本年もよろしくお願いいたします。

さて、今年の初めには、終活の出前講座を1月13日に行います。今までの人生を振り返り、より良く生きるためのヒントが見つかるかもしれません。関連書籍も展示しています。また、地下1階のすがもぎゃらりーでは中高生作成のひと棚図書館や、おすすめ本の紹介などを予定しています。

是非、地下1階まで下りてみてください。

(館長)



巣鴨図書館ニュース

11月5日、日本動物病院協会(JAHA)さんの協力の下、「ふれあい読書会」を開催しました！当日は、4匹のかわいいわんちゃんたちがハンドラーさんと一緒に来て、3人の読み手(小学生)さんのお話をしっかり聞いてくれました！犬となかよくするためのポイント講座も実施してくださり、有意義な時間を過ごすことができました。



2025年をふりかえる

皆さまの一句大募集！

俳句ポスト

多くの句をご応募いただき、ありがとうございました！
誠に勝手ながら、その中から十句掲載させていただきます。
皆さまそれぞれの一年の思い出が込められていて、
とても素敵な句ばかりでした。

一時間かけてクリック！サクラサク グラスハートの娘

合格発表の時のドキドキ感！おめでたい年だったんですね。

パパ写す団地の庭で子と土筆 まひろ

ほほえましい光景です。楽しい思い出になりましたね。

百日紅うねりくねりの草津みち 松見鈴子

百日紅らしい素朴さがあります。良いご旅行だったのでしよう。

太古より希望の目覚む石路の花 サンフラワー

石路の花のあかるい黄色は希望がぴったり。

やわらかき手話でかたるや菊日和 小あお

2025年はデフリンピックもあり、手話がより注目された年でした。

菊日和がとてもよく合っていて素敵な句です。

いろは坂紅葉とカーブ迫りけり もずく

いろは坂の緊迫感がよく伝わる句です。映像的です。

緑綿茶綿に和綿おでむかえ もこもこLOVE

すがもがーでんの綿花を詠んでくださりありがとうございます！

紅葉みるテレビの前の老いた母 ゼリー

お母様を見守るまなざしにしみじみします。

ハケ岳顔にぶつかる秋津群 さんま

東京ではなかなか顔にぶつかるほどのとんぼに

出会うことはないですね。ハケ岳が効いています。

※秋津＝蜻蛉（とんぼ）のこと

再検査マフラー濡れて君を憂う 末さん

親しい方でしょうか、心配ですね。一日も早くご回復されますように。